岩手の生涯学習物語　（展開期編）

第十話　「生涯学習推進のための基本的考え方」の巻

元岩手県教育委員会事務局社会教育課長　高　橋　　寛

1989 年、年号が「昭和」から「平成」に変わりました。時を同じくして岩手の生涯学習も新しい発展の時を迎えました。今回はそのお話です。

生涯教育推進事業の成果

昭和 47 年度から３年間取り組まれた「生涯教育推進事業」は大きな成果を挙げて終えました。第一に県庁内の生涯学習事業が総覧され、今後の事業開発の要点が明らかになったこと。第二に生涯学習情報がまとめられデータバンクの基盤が出来たこと。しかも全国初の「生涯学習情報分類表」も生まれたこと。第三は専門機関施設との連携による県全域を対象とする学習機会が開発されたこと。

生涯学習は時の課題

そして、なによりも大きかったことは生涯学習が社会教育の領域を超え生涯にわたる教育編成という視点が明らかになったことです。教育界はもとより社会の各方面において、生涯学習の振興に対する期待が一層膨らみ、生涯学習社会の構築はまさに時の課題となってきたのです。こうして岩手の生涯学習は新しい時代を迎えることとなりました。

生涯学習推進検討委員会の設置

この時の流れを大きく捉え発展させることがありました。それは昭和 63 年度、この年、県教育委員会内に「生涯学習推進検討委員会」が設置されたのです。

県民一人一人がより豊かな知識と文化の香りを身につけ、潤いに満ちさわやかに生きてゆくためには生涯にわたって主体的に継続的に学習していくことが重要との認識から、本県における生涯学習体系への移行に向けた新たな施策の展開を図るために、生涯学習推進に関する基本的な課題とその方策が鋭意検討されたのです。

生涯学習推進のための基本的考え方

この検討委員会の協議内容が翌年の「生涯教育推進会議」に提案され審議の結果が「生涯学習推進のための基本的方向」として提言されたのです。

内容は下の表の通り。

時は平成元年、この年を岩手の「生涯学習元年」と位置づけ、県民の「いつでも、どこでも、だれでも」の学習活動がまた新たに動き出したのです。

生涯学習推進のための基本的な考え方

第１章　生涯学習推進の基本理念
　第１節　社会の変化と生涯学習
　第２節　生涯学習推進の基盤整備
第２章　生涯学習推進の課題
　第１節　学習活動の促進
　第２節　学習条件の整備
　第３節　推進体制の整備
第３章　生涯学習推進の領域別基本的方向
　第１節　家庭教育の振興
　第２節　学校教育の充実と開放
　第３節　社会教育の充実
　第４節　文化の振興
　第５節　体育・スポーツの振興
第４章　生涯学習推進のための総合的取り組み
　第１節　生涯学習推進体制の確立
　第２節　生涯学習情報提供システムの整備
　第３節　広域的な学習条件の整備

（この第八話は当時この事業を担当していらした菊池明敏先生にお聞きし纏めました。菊池先生ありがとうございます。）